

## 三重県立看護大学について

### 実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
健康福祉総務課	2011年02月18日から 2011年03月02日まで	1355	735	54%

18歳人口の減少、全国的な看護系大学の増加など大学間競争、地域間競争の激化や国立大学の法人化等の大学改革の進展など、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。また、県内の看護師不足の解消や医療の高度化・専門化に対応できる質の高い看護職者の確保を図る必要はますます高まっています。

このような状況のなかで、より一層魅力ある大学をめざして、権限と責任を明確にしたうえで弾力的な大学運営を行うため、県立看護大学は地方独立行政法人法に基づき公立大学法人に移行し平成21年4月1日「公立大学法人三重県立看護大学」が設立されました。公立大学法人化により、これまでよりいっそう教育研究を充実させるとともに、大学運営の弾力化・効率化・透明化をはかっていくことを目指しています。

つきましては、三重県立看護大学の目標や計画等の策定の参考とさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。（なお、三重県立看護大学の印象をお尋ねする設問については、これまで三重県立看護大学についてお知りになっていただく機会がないなどご不明の場合には「わからない」の選択肢も設けておりますので、その旨忌憚のないご回答をいただきますようお願いいたします。今後の大学の教育・研究や地域貢献活動、広報活動の改善の参考とさせていただきます。）

三重県立看護大学の概要については添付ファイルの資料及び大学のホームページ<http://www.mcn.ac.jp/>をご覧ください。

### ■ 添付ファイル

- [三重県立看護大学概要](#)

### ■ Q1 三重県立看護大学の印象（評判や話題）

三重県立看護大学についての評判や話題をお聞きになることはありますか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
よく聞く	15	2.0%
時々聞く	117	15.9%
あまり聞かない	241	32.8%
聞かない	325	44.2%
わからない	37	5.0%

### ■ Q2 三重県立看護大学の印象（難易度）

三重県立看護大学の入試の難易度は高いと思われますか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	76	10.3%
ややそう思う	166	22.6%
あまり思わない	98	13.3%
思わない	20	2.7%

わからない	375	51.0%
-------	-----	-------

### ■ Q3 三重県立看護大学の印象（学生に対する印象）

三重県立看護大学の学生は優秀だと思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	79	10.7%
ややそう思う	169	23.0%
あまり思わない	50	6.8%
思わない	10	1.4%
わからない	427	58.1%

### ■ Q4 三重県立看護大学の印象（卒業生に対する印象）

三重県立看護大学の卒業生は活躍していると思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	84	11.4%
ややそう思う	150	20.4%
あまり思わない	47	6.4%
思わない	6	0.8%
わからない	448	61.0%

### ■ Q5 三重県立看護大学の印象（開かれた大学としての印象）

三重県立看護大学は地域社会に開かれた大学だと思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	59	8.0%
ややそう思う	148	20.1%
あまり思わない	110	15.0%
思わない	34	4.6%
わからない	384	52.2%

### ■ Q6 三重県立看護大学の印象（大学の地域貢献に対する印象）

三重県立看護大学は地域に貢献していると思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	88	12.0%
ややそう思う	192	26.1%

あまり思わない	83	11.3%
思わない	21	2.9%
わからない	351	47.8%

### ■ Q7 三重県立看護大学の印象（大学の研究活動に対する印象）

三重県立看護大学は優れた研究を行っていると思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	26	3.5%
ややそう思う	81	11.0%
あまり思わない	100	13.6%
思わない	16	2.2%
わからない	512	69.7%

### ■ Q8 三重県立看護大学の印象（教員に対する印象）

三重県立看護大学には優秀な教員が多いと思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	24	3.3%
ややそう思う	89	12.1%
あまり思わない	71	9.7%
思わない	14	1.9%
わからない	537	73.1%

### ■ Q9 三重県立看護大学の印象（授業料に対する印象）

三重県立看護大学の授業料（平成22年度授業料年額535,800円）は安いと思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
そう思う	141	19.2%
ややそう思う	201	27.3%
あまり思わない	180	24.5%
思わない	84	11.4%
わからない	129	17.6%

### ■ Q10 三重県立看護大学の印象（就職についての印象）

三重県立看護大学は就職に有利だと思われませんか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
----	-----	--

そう思う	255	34.7%
ややそう思う	242	32.9%
あまり思わない	35	4.8%
思わない	8	1.1%
わからない	195	26.5%

### ■ Q11 三重県立看護大学との関わり

あなたと三重県立看護大学との関わりについてあてはまるものを選んでください。

合計	735	
大学の公開講座に参加したことがある	4	0.5%
大学附属図書館を利用したことがある	2	0.3%
看護や介護のことで大学や大学教員に相談したことがある	1	0.1%
大学祭（夢緑祭）に参加したことがある	6	0.8%
七夕まつりに参加したことがある	1	0.1%
大学の見学やオープンキャンパスに参加したことがある	6	0.8%
進路相談会に参加したことがある	2	0.3%
県や市町の行事等で大学教員の講演を聞いたことがある	11	1.5%
大学案内やパンフレットやホームページを見たことがある	62	8.4%
グラウンド・テニスコートを利用したことがある	5	0.7%
自分や家族が三重県立看護大学の学生（または聴講生・科目履修生）である（あった）	9	1.2%
大学についての広告を目にしたことがある	83	11.3%
その他	49	6.7%
関わりはない	569	77.4%

### ■ Q12 地域交流センターについて

三重県立看護大学には附属機関「地域交流センター」（<https://www.mcn.ac.jp/community/communitycenter/>）がありますが、ご存じでしたか。あてはまるものを選んでください。

合計	735	
知っている	16	2.2%
知らなかった（または今回のアンケートで知った）	719	97.8%

### ■ Q13 三重県立看護大学の意義

三重県が公立大学法人三重県立看護大学を設置する意義と思われるものを以下から選んでください。

合計	735	
高度な専門知識を持った看護職者の養成	425	57.8%
県内の保健・医療・福祉職場への看護職者の供給	528	71.8%
県内高校生の進学先	132	18.0%
県民を対象とした公開講座や講演会の実施	33	4.5%
県内の看護職者への専門教育の実施	247	33.6%
県内の保健・医療・福祉等の課題の解決とその研究成果の還元	166	22.6%
その他	5	0.7%
県が公立大学法人三重県立看護大学を設置する意義はない	10	1.4%
わからない	83	11.3%

### ■ Q14 三重県立看護大学への期待（教育について）

今後の三重県立看護大学の教育に関して期待しておられることを以下から選んでください。

合計	735	
専門性を重視した教育を行う	198	26.9%
看護職場でのリーダーとなるような人材を養成する	244	33.2%
幅広い知識・教養を身に付けた人材を養成する	285	38.8%
地域との関わりを重視した教育を行う	168	22.9%
基礎的な看護知識・技術を習得させる	153	20.8%
高度な看護知識・技術を習得させる	275	37.4%
県内の看護職員へ専門教育を提供する	135	18.4%
県内で働く看護職者を増やす	323	43.9%
国際社会で活躍する人材を養成する	19	2.6%
現状で充分である	1	0.1%
期待するものはない	4	0.5%
その他	4	0.5%
わからない	43	5.9%

### ■ Q15 三重県立看護大学への期待（研究について）

今後の三重県立看護大学の研究活動に関して期待されることを以下から選んでください。

合計	735	
研究内容や成果を学外にもわかりやすく知らせる	267	36.3%
県民や地域の要望に基づいた研究を行う	246	33.5%
地域の課題解決に貢献する研究を実施する	292	39.7%
直接は県や地域に関係しなくても先端的で高度な研究を実施する	129	17.6%
医療機関と協働して研究を実施する	357	48.6%
行政や企業と協働して研究を実施する	92	12.5%
現状で充分である	4	0.5%
期待するものはない	11	1.5%
その他	4	0.5%
わからない	92	12.5%

### ■ Q16 三重県立看護大学への期待（社会貢献について）

今後の三重県立看護大学が行う社会貢献に関して期待されることを以下から選んでください。

合計	735	
県民に教員の持っている知識や大学の知的資源を提供する	342	46.5%
看護関係者に教員の持っている知識や大学の知的資源を提供する	452	61.5%
大学の施設や設備をもっと開放する	195	26.5%
高校との連携を図る	146	19.9%
国際交流を推進する	52	7.1%
現状で充分である	8	1.1%
期待するものはない	9	1.2%
その他	7	1.0%
わからない	98	13.3%

### ■ Q17 三重県立看護大学への期待（大学運営について）

今後の三重県立看護大学の運営について期待されることを以下から選んでください。

合計	735	
経費を削減するなど効率的で無駄のない大学運営を行う	317	43.1%

外部資金の獲得に努め、県費負担を少なくする	133	18.1%
自立した責任のある大学運営を行う	284	38.6%
学外者の参画などにより運営の活性化を図る	143	19.5%
決算状況や研究成果など大学の情報を積極的に公開し運営の透明性を確保する	194	26.4%
教職員の業績評価制度など人事の活性化を図る	97	13.2%
他大学との連携などにより運営の効率化を図る	195	26.5%
現状で充分である	7	1.0%
期待するものはない	7	1.0%
その他	8	1.1%
わからない	105	14.3%

## 三重県立看護大学について

### 1 大学の概要

- 平成 9 年度 開学（看護学部看護学科 定員 100 名）  
 平成 13 年度 大学院看護学研究科開設（修士課程 定員 15 名）  
 平成 21 年度 地方独立行政法人化（公立大学法人三重県立看護大学・設立主体 三重県）  
 所在地 三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番 1 号

### 2 事務事業の概要

#### (1) 学生の在籍状況

ア 看護学部 (平成 22 年 5 月 1 日現在、単位：人)

学年	県内・外別		男女別		計
	県内	県外	女	男	
1 年	55	46	98	3	101
2 年	73	31	93	11	104
3 年	59	46	90	15	105
4 年	48	53	88	13	101
計	235	176	369	42	411

※ 県内出身者の占める割合 57.2%

イ 研究科 (平成 22 年 5 月 1 日現在、単位：人)

学年	県内・外別		男女別		計
	県内	県外	女	男	
1 年	3	3	3	3	6
2 年	6	5	11	0	11

※ 県内出身者の占める割合 53.0%

#### (2) 平成 22 年度入試の状況

ア 看護学部 (単位：人)

	募集定員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	入学者数	倍率 (A/B)
特別選抜試験	35	101	99	38	38	2.6
一般選抜試験	65	461	292	75	63	3.9
計	100	562	391	113	101	3.5

イ 研究科 (単位：人)

	募集定員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	入学者数	倍率 (A/B)
選抜試験	15	7	7	7	6	1.0



## (3) 平成 21 年度卒業者の進路

ア 看護学部

(単位：人)

卒業生数		就職希望者数	就職決定者数				職 種				進学
出身	人数		県内	県外	計	率(%)	看護	保健	助産	看護助手	
県内	48	47	40	7	47	100.0	44	0	2	1	1
県外	45	43	13	30	43	100.0	41	1	0	1	2
計	93	90	53	37	90	100.0	85	1	2	2	3

過去5年間の県内就職率

(単位：%)

年 度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
就 職 率	48.0	44.1	62.5	43.0	58.9

イ 研究科

(単位：人)

卒業生数		就職希望者数	就職決定者数			
出身	人数		県内	県外	計	率(%)
県内	4	4	4	0	4	100.0
県外	0	0	0	0	0	-
計	4	4	4	0	4	100.0

県内就職率 100.0%

## (4) 平成 21 年度国家試験合格状況

(単位：人)

	看護師	保健師	助産師
受験者数	93	93	2
合格者数	91	83	2
合格者率	97.8%	89.2%	100.0%
全国大学平均	97.9%	87.9%	81.5%

過去5年間の看護師合格率

(単位：%)

年 度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
合 格 率	99.0	96.8	93.8	98.1	97.8

## 3 教育理念及び教育目標

## (1) 教育理念

崇高な人間性と幅広い視野を基盤に、先進的な知識と技術を教授することにより、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに応え得る能力を養います。

これとともに看護実践に関する総合的な能力を養い、もって社会の幅広い分野において人々の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材育成を目指します。

さらに、看護学の進歩と独自の学問体系の確立に寄与できる将来の看護教育者及び研究者を育成します。

## (2) アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

本学では、高度専門職である看護職者を養成するために、次のような資質を有する人を求めます。

1. 将来、看護学の専門家として社会に貢献したいという強い意思を持ち、日頃から人々の営みや社会の動き、さらにはそれらの背景に関心を寄せ、理解を深めようと努めていること。
2. 看護学は文系・理系の科目を問わず広範囲に及ぶので、偏ることなく広汎で基礎的な学力を身につけていること。特に生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎学力を身につけておくことが望ましい。
3. 他者を理解するとともに自己を表現するためには「言葉」が必要であり、国語や英語についての基礎学力を身につけていること。
4. 看護は人と接する仕事であるため、生徒会活動や課外活動をはじめとした日々の生活の中で、友人、家族、先生など周囲の人との交流を積極的に保ち、他者を尊重するとともに自らの考えを伝えるコミュニケーション力を身につけていること。
5. 日々の生活の中で、自律心を持ち、自己研鑽に努める習慣を身につけていること。
6. 特別入試においては、将来、三重県内の保健・医療・福祉分野で活躍する意思を強く持っていること。特に、地域推薦では、将来、地域の医療において指導的な立場で活躍することが期待されるので、リーダーシップを発揮してクラスや課外活動などで活躍していることが望ましい。

## (3) カリキュラムポリシー (教育課程編成方針)

本学のカリキュラムは、「看護は、人間や人間を取り巻く環境に働きかけて、人間が健康に生き、やすらかな死を迎え、さらに健全な次代の育成を援助する実践である」という理念に基づき、「人間」「環境」「健康」「看護」の4概念を思考の基盤とします。その上に自ら学び、自らを律し、自ら評価し、向上心をもたらす自律性を尊び、人々の生活背景、社会・文化的背景に視点を向け、人が暮らす地域の特性・伝統を理解し、人間性豊かな看護活動を展開する能力を身に付けられるように教育課程を構成します。

1. 人として必要な〈高い倫理観〉および〈幅広い教養と豊かな人間性〉を育成するために、教養・基礎科目群を設置する。
2. 教養・基礎科目群は、様々な事象から人々を捉え、看護学を学ぶ上での基礎的な学習を系統的にすすめるために、[人間の理解][現代社会の理解][科学と環境の理解][健康の理解][外国語][情報処理]の6分野で構成する。
3. 幅広い分野において、人々の保健・医療・福祉について学習し、〈看護専門職者としての基礎的な能力〉および〈総合的看護実践能力〉を育成するために、専門支持科目群を設置する。
4. 看護専門職として中核となる能力として、〈看護専門職者としての基礎的な能力〉、〈総合的看護実践能力〉、〈地域に貢献する能力〉および〈国際化社会に対応する能力〉を育成するために、専門科目群を設置する。
5. 専門科目群は、様々な側面から人を捉え、最も適した看護を実践する上で必要な知識・技術などを系統的に学べるように、[実践基盤看護学][生涯看護学][広域看護学]の3分野で構成する。
6. 社会の多様なニーズに応え、将来的に広い視野で新たな看護学の視点を模索し、〈看護学を体系化し発展させる能力〉が獲得できるように、総合科目群を設置する。

**(4) ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)**

三重県立看護大学で以下のような姿勢・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。

1. 教養・基礎科目群の履修を通して、人間・環境・健康・看護に対する幅広い教養と豊かな人間性を養うとともに、専門領域を越えて、看護専門職者として課題を探究する。
2. 教養・基礎科目群での学習を基盤に、さらに専門支持科目群や専門科目群の履修を通して、看護実践として必要な課題を発見し解決する。
3. 4年間にわたる学習や総合科目群の履修を通して、人の生涯における看護ニーズに応えられる総合的な看護実践能力を養い、地域における保健・医療・福祉の分野での様々な課題の解決に取り組む。

**4 本学の特色****(1) 特徴あるカリキュラム**

学生自らが積極的に市町へ出向いて、地域と人を理解する「ふれあい実習」が必修となっているほか、海外の協定大学で短期実習を行う国際看護実習も自由科目として履修することができます。

**(2) 就職説明会**

平成 22 年 6 月 16 日に、本学に卒業生（先輩）5 人を招くとともに、県内 31 病院等施設がブースを設け、就職説明会を開催しました。4 年生を中心に 76 名の学生が参加しました。

**(3) IT 関連外部接続インフラを活用した事業**

現在本学は IT 外部接続インフラとして常時接続の商用回線が設備されており、県内地域医療機関と連携して遠隔授業に取り組んでいます。

また、大学開設時から敷設された学内 LAN を活用し、全教職員及び学生間でメール機能利用による会議資料の事前配布やレポートの提出等ペーパーレス化にも取り組んでいます。

**(4) 附属図書館**

ア 附属図書館は、本学学生、教職員はもとより、地域の方々にも広く公開しており、利用者の強い要望から、開館時間の延長（21 時まで）に加え、土曜日も開館し、多くの利用者の便宜を図っています。

イ 図書の収集・整備状況（蔵書冊数）

	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末
和書	58,933	60,474	56,505	46,073	48,128
洋書	12,069	12,135	12,236	11,080	11,151
計	71,002	72,609	68,741	57,153	59,279

※ 限られたスペースで有効な配架を行うため、平成19年度からより積極的に図書の更新を行っています。

## ウ 図書館の利用状況

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
開館日数(日)	275	268	264	267	262
入館者数(人)	(2,782) 60,522	(3,286) 58,167	(4,169) 57,861	(3,676) 53,255	(4,033) 53,536
貸出者数(人)	(1,805) 8,195	(1,914) 8,241	(1,954) 8,940	(1,647) 9,085	(2,017) 8,057
貸出冊数(冊)	(3,998) 15,591	(4,286) 16,108	(4,281) 17,451	(3,741) 17,689	(4,570) 16,030

※ 平成17年度以降の上段( )は学外利用者数で、下段の内数。

## (5) 地域交流センターの活動

大学の地域社会貢献活動の中心機関として、地域の保健・医療・福祉の向上に寄与するために、さまざまな地域貢献事業、出前授業、公開講座講師派遣などを実施しています。平成 23 年度には、日本看護協会が資格認定する認定看護師教育課程「感染管理」を開設します。

## 地域貢献活動(平成 22 年度)

## ア 県民の健康増進事業

- ① 女性のための健康相談
- ② 不妊に悩む女性および家族のための支援事業
- ③ 「健康の郷・美杉」ヘルスツーリズム支援事業
- ④ ブラジル人への健康相談事業

## イ みえ看護力向上支援事業

## 【看護研究】

- ① 看護研究の基本ステップ
- ② 初学者のための看護研究
- ③ 看護研究アドバンストコース(看護研究の基礎を既習の看護職への発展コース)
- ④ 看護研究支援
- ⑤ 看護研究発表会支援

## 【看護実践】

- ① 医療的ケアを必要とする子どもに関わる看護師への支援
- ② 周産期における母子・家族支援のための臨床助産師の看護実践能力育成支援
- ③ 感染管理認定看護師教育課程プロジェクト
- ④ 在宅緩和ケア連携推進のための看護モデル事業
- ⑤ 実践 フィジカルアセスメント

## 【看護システム整備】

- ① 県内中堅病院のネットワーク構築に向けた取り組み
- ② つながろう!! 未来に続く男性看護師

## ウ 卒業生支援事業

- ① 夢が丘ハートネットワーク

## エ 学生による地域貢献推進事業

- ① 災害に対する学生ボランティア育成事業
- ② 学生ボランティア活動の支援

## オ 地域住民ふれあい推進事業

- ① 三看マーケット
- ② 三看大健康バドミントン教室
- ③ Let's go to 三看大
- ④ おいでよ、キッズサロンへ

オ 産官民学共同研究推進事業

- ① メディカルバレー構想推進
- ② 三重県東紀州地域自殺対策事業
- ③ 衝撃吸収能と着脱性を兼ね備えたヒッププロテクタの試作

カ 三重県立看護大学開学 15 周年記念事業

- ① 『三重の看護史』編纂・発行、ミニ看護博物館開設準備

キ 出前授業・公開講座

- ① 出前授業 42 件
- ② 公開講座講師派遣 7 件
- ③ 講義遠隔配信 1 件
- ④ その他の講師派遣 9 件
- ⑤ 公開講座（本学開催）3 件

【公開講座の平成 22 年度開催状況】

- ・ 名張市保健センター公開講座（2 月 28 日）  
「健やかに年齢を重ねるために～更年期女性の身体・心の特徴と健康づくり」
- ・ 熊野市学校保健会・三重県立看護大学共催公開講座（11 月 30 日）  
「ヒトの対応調節機構と発汗」
- ・ 「第 10 回地域の知の拠点シンポジウム」三重県立看護大学公開講座（11 月 26 日）  
「食と命（いのち）」
- ・ 三重県立看護大学公開講座（10 月 20 日）「子ども観と文化」
- ・ みえアカデミックセミナー2010 移動講座（9 月 25 日）「眠りと健康」
- ・ 尾鷲市・三重県立看護大学共催公開講座（9 月 13 日）「いきいき元気に過ごすために」
- ・ 伊賀市教育研究会・三重県立看護大学共催公開講座（8 月 10 日）  
「子どもからおとなまでの眠りと健康」
- ・ みえアカデミックセミナー2010（7 月 22 日）「こころの健康を考える」
- ・ 国際協力入門セミナー（6 月 23 日）「国際医療人として働く～身近なところから～」
- ・ 三重県立看護大学公開講座（6 月 23 日・伊賀市立大山田小学校）  
「お母さん、あわてないで！」

(6) 施設開放・人材派遣

大学の有する社会資源としての施設・人材を地域に還元するため、施設開放に努めるとともに大学教員を講師や各種の委員として地域に派遣する活動をしています。

5 ISO14001の取得運用

国際的な地球環境保全意識の高まりを受け、本学においても全国看護系大学として初めての ISO 14001 の認証を平成 14 年 3 月に受け、平成 20 年 3 月には認証登録を更新しました。（3 年毎に更新

され、平成 23 年 1 月 26 日～28 日に更新審査が行われました。)

環境に配慮した看護を実践する看護職者を輩出し、さらにバージョンアップを図り、全国の保健医療福祉の場へ普及させていきます。

## 6 国際交流

グローバルな今日においては、大学の国際交流、国際連携は欠かせないものであり、国際学会の開催、外国人研究者の招聘及び海外技術研修員の受入れなどを実施しています。

平成 13 年 9 月に、タイのマヒドン大学と国際交流協定を締結し、教員の交流、共同研究などを行っており、同年度から、学生の相互訪問（短期研修として各 1 回／年度）を実施してきましたが、平成 20 年度からは本学学生がマヒドン大学で行う実習を国際看護実習 I として科目に位置づけています。

平成 22 年度は新たに国際看護実習 II を開講し、本学学生 6 名が米国カルフォルニア大学ロサンゼルス校で研修を行いました。

## 7 教育のモデル事業

平成 22 年度文部科学省補助金「大学生の就業力育成支援事業」として、本学の「休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル」が採択されました。

この事業は、看護系大学である本学入学後に看護専門職に特化したキャリアガイダンスを実施し、1 年次から看護専門職者としての職業観やアイデンティティーを醸成することに加え、高校生を対象に看護専門職者に特化した看護大学進学ガイダンスを実施し、入学時点での看護専門職者としてのアイデンティティー醸成の芽を育み、休退学者の減少あるいは就職後の早期離職防止につなげることを目的としています。

## 8 自己点検評価・認証評価

看護学部が完成した平成 13 年度に「自己点検・評価報告書」を作成・公表しました。平成 14 年度には大学院も完成したこと、並びに大学改革の一環として、(財)大学基準協会の第三者評価を受けるため、平成 14 年度末に大学院を含めた現状における自己点検評価を実施し、平成 16 年 3 月には、当該協会の大学基準に適合していると認定され、正会員への加盟・登録が承認されました。以降、正会員への加盟・登録の承認の際に示された「加盟判定審査結果」を踏まえて、平成 17 年 11 月に「自己点検・評価報告書 2004」を作成し、公表しました。

平成 22 年度には、新たに義務づけされた学校教育法第 109 条第 2 項の規定により認証評価機関(財)大学基準協会による認証評価を受け、3 月に正式結果が通知されます。

## 9 独立行政法人化

18 歳人口の減少、全国的な看護系大学の増加など大学間競争、地域間競争の激化や国立大学の法人化等の大学改革の進展など、本学を取り巻く環境は大きく変化しています。また、県内の看護師不足の解消や医療の高度化・専門化に対応できる質の高い看護職者の確保を図る必要はますます高

まっています。

このような状況のなかで、より一層学生等にとって魅力ある大学をめざして、権限と責任を明確にしたうえで弾力的な大学運営を行うため、平成 21 年 4 月 1 日に「公立大学法人三重県立看護大学」が設立されました。

新法人は地方独立行政法人の一種で法人と大学の一体型の組織をとっており、法人の理事長が学長を兼ねるほか、副理事長が事務局長を、常勤の理事が大学の各組織の長を兼ねていて、小規模大学のメリットを生かした機動性の高い組織体制となっています。また、法人に設置される理事会の理事（非常勤）及び監事、経営審議会及び教育研究審議会の委員には学外の有識者も任命して、学外からの意見を取り入れ、法人経営の透明性及び客観性を確保しています。

こうした体制のもとで「公立大学法人三重県立看護大学」は、次の基本的な考え方に立って大学運営を行ってゆきます。

質の高い教育・研究の実践のため、高い倫理観を基盤とした人を理解する鋭い感性と豊かな人間性、自主・自律し自己決定できる能力、創造する能力や課題発見能力を具えた看護職者を育成するために、常に教育改革に取り組み、特色ある教育内容を実施します。

さらに、地域貢献、地域連携のため、県民のニーズを把握するとともに、国内及び国外の高等教育機関・医療機関や研究機関との教育・研究での交流や連携、県内の保健・医療・福祉の情報ネットワークを活用して大学からの情報発信を図ることによって、社会に教育・研究の成果を還元し、地域の保健・医療・福祉の向上に寄与します。

また、適切で透明性の高い組織運営を行うため、社会の変革に対応した教育研究活動を実施していくうえで、役員及び教職員が大学運営に主体的に取り組むように意識改革・行動改革を図るとともに、積極的に学外からの評価を受け入れ、大学の教育研究活動や運営にかかる情報公開と説明責任を遂行し、適切で透明性の高い組織体制の構築と運営を行います。

## 10 三重県公立大学法人評価委員会の評価

地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、三重県公立大学法人評価委員会による業務の実績に関する評価を毎年度受けます。平成 21 年度業務実績に関する評価結果では、『三重県が定めた「公立大学法人三重県立看護大学中期目標」に沿って、質の高い教育・研究の実践を通じて優れた看護職者を育成し、地域貢献・地域連携の強化を通じて地域の保健・医療・福祉の向上に寄与し、適切で透明性の高い組織体制の構築と運用という目的の達成に向けて、三重県立看護大学が作成した「公立大学法人三重県立看護大学中期計画」を概ね順調に実施していると認められる。』という評価を得ております。

## 11 大学の教育情報公表について

学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、平成 23 年 4 月 1 日から一定の教育情報の公表が義務化されます。すでに本学ではホームページ上で教育研究活動等の状況について公表を行っていますが、今般の教育情報公表義務化を契機に、より積極的に情報を公開し、適切で透明性の高い組織運営を行います。